

器48 注射筒

一般医療機器

汎用注射筒 13929001

JMS シリンジ（マイクロ）

再使用禁止

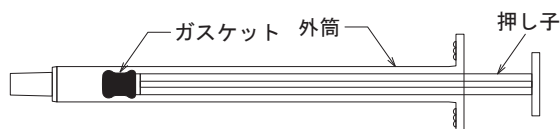
【禁忌・禁止】

- 再使用禁止
- 造影剤等の高圧注入には使用しないこと。〔液漏れ又は破損する可能性がある。〕

【形状・構造及び原理等】

本品は、外筒、押し子、ガスケットからなる。

<構成>



【使用目的、効能又は効果】

液体を注射・注入するか吸引するために用いる器具であり、多くの場合、注射針を接続して薬剤の投与又は採血に用いる。

【品目仕様等】

1. デッドスペース

デッドスペースの容量は公称容量の10%以下である。

2. 圧力試験

490kPaの圧力を加えた時、はめ合せ部から水滴が落ちない。

3. 吸引試験

外筒内に陰圧が掛かっても、はめ合せ部から連続した気泡を認めない。

【操作方法又は使用方法等】

1. 薬液注入の場合

- (1) 包装から本品を取出し、注射針等を確実に接続します。
- (2) 押し子を押し、外筒内部から空気を完全に押し出します。
- (3) 接続した注射針等の針カバーを外し、薬液を吸引します。
- (4) 静脈等に穿刺し、薬液を注入します。

2. 採血の場合

- (1) 包装から本品を取出し、注射針等を確実に接続します。
- (2) 押し子を押し、外筒内部から空気を完全に押し出します。
- (3) 針カバーを外して、静脈等に穿刺し、採血を行います。

使用方法に関連する使用上の注意

- 注射針等と接続する際は次の事項を順守すること。
 - (1) 過度な締め付けをせず、横方向の力を加えないこと。〔筒先の破損や液漏れ、エアの混入が生じる可能性がある。〕
 - (2) 接続部に薬液等を付着させないこと。〔接続部に緩みが生じる。〕
 - (3) 針カバーを付けたまま接続すること。
 - (4) 確実にしっかりと接続し、漏れ等の異常がないことを確認すること。
- 押し子を引く際は次の事項を順守すること。
 - (1) 外筒印刷部の目盛以上に引かないこと。〔押し子が外筒から抜け、液漏れが生じる可能性がある。〕
 - (2) 押し子をまっすぐゆっくり引くこと。〔強く引く、ねじりながら引いた場合は、外筒との密着性が低下し、液漏れやガスケットの外れが生じる可能性がある。〕

- 外筒印刷部については次の事項を順守すること。

- (1) 目盛を強くこすらないこと。〔目盛が消える可能性がある。〕
- (2) 薬液等が付着した状態で放置しないこと。〔目盛が剥離する可能性がある。〕

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 包装が破損及び汚損している場合や、製品に破損、変形等の異常が認められる場合は使用しないこと。
- 包装を開封したらすぐに使用すること。
- 使用中は破損、接続部の緩み及び薬液漏れ等について確認すること。
- 併用する医薬品及び医療機器の添付文書を確認後、使用すること。
- 本品に衝撃を与えないこと。〔破損する可能性がある。〕
- 外筒部を強く握る等、圧迫するような力を加えないこと。〔ガスケットと外筒との密着性が悪くなり、液漏れ、エアの混入が生じる可能性がある。〕
- 冷蔵保存等により本品が低温になった場合は、常温に戻してから使用することが望ましいが、低温のまま使用の場合は取扱いに注意すること。〔低温下では本品の耐衝撃性が低下しており、強い衝撃を与えた場合、破損する可能性がある。〕

2. その他の注意

- 使用後は感染防止に配慮して安全な方法で処分すること。
- 接続部を汚染させないこと。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 貯蔵・保管方法

- 水ぬれに注意し、高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。

2. 使用期限

- 箱の使用期限欄を参照すること。〔自己認証（当社データ）により設定〕

【包装】

100本入／箱

【製造販売者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売元及び製造元

株式会社ジェイ・エム・エス

広島市中区加古町12番17号

郵便番号：730-8652

電話番号：082-243-5806